QBS

九州大学ビジネス・スクール社会連携事業

2023年度「短期エグゼクティブ・プログラム」

【各講義の講師プロフィール】

講義テーマ	講　師	プロフィール
コーポレート・アントレプレナーシップ （第2回講義）	九州大学ビジネス・スクール 教授　高田　仁 	九州大学工学部卒業後、大手メーカー勤務。その後、九州大学大学院工学研究科（修士）に進学し、『研究開発型産業立地論』をテーマに修士課程修了。修了後、コンサルタント会社にて大学を核とした地域計画の立案に従事。1999年4月、東京大学のTLO（技術移転機関）である株式会社先端科学技術インキュベーションセンター（CASTI、現東大TLO）の経営に参画し、2002年12月まで同社取締役副社長兼COO。2003年2月に九州大学経済学研究院助教授に着任。また、同年10月から2010年3月まで九州大学知的財産本部技術移転グループリーダーを兼務。2009年9月から翌3月まで、Robert Huang Fellowとして米国MIT Sloan School of Management/Entrepreneurship Centerに滞在し、アントレプレナーシップを巡る最新動向について学ぶ。2005年11月から2010年9月まで総長特別補佐（広報、大学活性化、起業家教育等担当）。2010年12月より九州大学ロバート・ファン／アントレプレナーシップセンター兼務。2014年4月、経済学研究院教授、2015年4月より2017年3月まで経済学研究院産業マネジメント専攻長。2018年7月より総長補佐。2019年2月より九州大学ロバート・ファン／アントレプレナーシップセンター長、2020年10月より副理事（経営改革、産学官連携、アントレプレナーシップ教育担当）を兼務、2021年4月より2023年3月まで再び産業マネジメント専攻長。 ＜社会活動＞ 文部科学省オープンイノベーション共創会議委員（2016～2017年）、UNITT（大学技術移転協議会）グローバル人材委員会委員、RTTP(国際技術移転プロフェッショナル)を認定するATTP（Alliance of Technology Transfer Professionals）のPeer Review Panelメンバーなど、各種委員等、多数。
企業経営と改革 （第3回講義）	九州大学ビジネス・スクール 教授　小城　武彦 	1961年、東京生まれ　祖父の代まで佐賀県に居住。 通商産業省（現経済産業省）、ツタヤオンライン代表取締役社長、カルチュア・コンビニエンス・クラブ代表取締役常務、カネボウ代表執行役社長（産業再生機構からの出向）、丸善（現丸善CHIホールディングス）代表取締役社長、日本人材機構代表取締役社長などを歴任。常に企業・社会変革の第一線に携わる。 2020年7月に福岡に移住し、10月九州大学ビジネススクール教授に就任。 東京大学法学部卒、プリンストン大学大学院ウッドローウィルソンスクール修了（国際関係論専攻）、東京大学大学院経済学研究科博士課程修了　博士（経済学） 国際コーチング連盟認定　プロフェッショナルコーチ 著書：「衰退の法則：日本企業を蝕むサイレントキラーの正体」（東洋経済新報社） <社会活動> 金融庁参与、経済産業省参事を歴任するほか、政府の委員会に数多く参加。
組織行動 （第4回講義）	九州大学ビジネス・スクール 講師　碇　邦生 	2006年立命館アジア太平洋大学を卒業後、民間企業を経て神戸大学大学院経営学研究科へ進学し、ビジネスにおけるアイデア創出に関する研究を日本とインドネシアにて行う。 2015年からリクルートワークス研究所で主に採用と人事制度の実態調査を中心とした研究プロジェクトに従事。 2017年から大分大学経済学部経営システム学科で人的資源管理論の講師を務める。 2022年に経営学の知見を社会実装することを目的として合同会社ATDIを創業し、教職に就く傍ら、大学発シンクタンクの代表も務める。 2023年から、一般財団法人ひらめき財団の評議員として、ビジネスアイデア創出の研究と普及活動に努める。 同年9月から、九州大学ビジネススクールにて「組織行動」と「リーダーシップ論」を教える。 現在は、新規事業開発や組織変革をけん引するリーダーの行動特性や認知能力の測定と能力開発を主なテーマとして研究している。また、起業家精神育成を軸としたコミュニティを学内だけではなく、学外でも展開している。 日経新聞電子版COMEMOのキーオピニオンリーダー。

講義テーマ	講　師	プロフィール
マーケティング戦略 **（第5回講義）**	九州大学ビジネス・スクール 准教授　広垣　光紀 	神戸大学大学院経営学研究科博士後期課程修了。博士(商学)。釧路公立大学、愛媛大学准教授を経て、2021年より現職。九州大学ビジネススクールにて「マーケティング戦略」、「International Marketing 」担当。専門分野はマーケティング、マーケティング・リサーチ、消費者行動論。主な著書に『成熟社会とマーケティング・イノベーション』(単著: 千倉書房、2016年)、『新時代の経営入門:進化するマネジメント』(分担執筆: 晃洋書房、2020年)、Handbook of Research on Contemporary Consumerism(分担執筆:IGI Global、2020年)、Handbook of Research on Digital Innovation and Networking in Post-COVID-19 Organizations（分担執筆：IGI Global、2022年）。主要論文に“Social Commerce promotes Sharing Economy: A Case study of Mercari Japan.”(*International Journal of Technology Transfer and Commercialisation, 20(1), 87-98,* 2023)，“Willingnessto Pay for Functional Foods in Europe and Asia: An Empirical Study in the UK and Japan. ”(*Micro & Macro Marketing,30(3), 593-614* , 2021)，“Frequency of retail services, membership fees and real store shopping experience: analysing consumer preferences.”(International *Journal of Business and Globalisation* , 23(3), 367-382, 2019)他。
財務戦略①・② **（第5回・第10回講義）**	九州大学ビジネス・スクール 教授　村藤　功 	東大法卒、ロンドン・ビジネス・スクールMBA。ベイン、メロン銀行、CSファースト・ボストン、ペレグリンを経て、アンダーセンのパートナーへ。エンロン問題でアンダーセンが崩壊してのち、ベリングポイント顧問を経てプライスウォーターハウスクーパースコンサルタントで2009年末まで顧問。2003年4月から開設された九州大学ビジネス・スクールで企業財務、M&Aとプロジェクト演習。2011～2012年トーマツコンサルティング顧問。2012年度にサバティカルを取得し、韓国のKAIST及び中国遼寧省瀋陽の東北大学ビジネススクールで訪問教授。2017年4月から2019年3月まで6年ぶり2回目の産業マネジメント専攻長。 ＜社会活動＞ 経済産業省主催の地域金融人材育成システム開発委員会(2003)と財務管理人材育成システム開発委員会(2004)委員長。2003～2009年まで経済同友会会員。キンザイ・CFO協会:CFOプロフェッショナル検定企画・試験委員、銀行研修社・金融検定協会CFO検定試験委員長。熱海市行財政改革会議委員(2007～2008)。久留米市ガス事業譲渡先選定委員会(2007～2008)・事業仕分委員会委員、委員長(2008、2012)。行政刷新会議第2ワーキンググループ仕分人(2009)。糸島市行革推進委員会委員長(2013～2024)。筑紫野市総合計画審議委員長・財務アドバイザー(2014～2015、2019～2020、2023～2024)。太宰府市外部評価委員長(2016～2019)。大野城市公共サービス改革委員会委員長(2017～2023)。大前研一氏主催のスカパーのビジネス・ブレークスルー・チャンネル(ch.757)で数番組放映後、2012年までコンテンツ委員会委員。FM福岡のラジオ番組QT PROモーニングビジネススクールで2023年9月まで時事問題・財務担当。連結財務戦略、コーポレートファイナンス、事業ポートフォリオの最適化、ネットの政府など東洋経済新報、中央経済、創成社、同文舘などから7冊の本を出版。2018年度から2022年度まで九州大学ギャップファンド・ステップファンドの審査委員。
ロジスティクス **（第6回講義）**	九州大学ビジネス・スクール 教授　星野　裕志 	慶應義塾大学法学部政治学科卒、ジョージタウン大学経営大学院修了。 日本郵船株式会社、日本貨物航空株式会社(出向)を経て、神戸大学経営学部・経済経営研究所助教授、2003年より現職、2007年～2009年産業マネジメント専攻長兼経済学研究院副院長、2011年～2012年、2015/2017年コロンビア大学客員研究員、九州大学 ユヌス&椎木ソーシャルビジネス研究センター長。 研究分野: 国際経営、国際ロジスティクス、ソーシャル・ビジネス ＜社会活動＞ 九州地方総合物流施策推進会議議長、博多港長期構想検討委員会・物流専門委員会委員、福岡市総合計画審議会委員、日本海運経済学会前会長、多国籍企業学会理事、国際ビジネス研究学会理事、KAIL九州アジア経営塾理事長特命顧問、九州ベトナム友好協会会長、福岡インターナショナルスクール理事、JILS九州ロジスティクス活性化研究会座長。

講義テーマ	講　師	プロフィール
企業戦略 （第8回講義）	九州大学ビジネス・スクール 教授　目代　武史 	広島大学大学院国際協力研究科修了（学術博士）。広島大学地域経済システム研究センター助手、東北学院大学経営学部准教授、九州大学大学院工学研究院准教授を経て、現職。専門は、生産管理、製品開発マネジメント、企業戦略。主な著書に『サプライチェーンのリスクマネジメントと組織能力』（西岡正・目代武史・野村俊郎著、同友館、2018年、※BCAOアワード2019受賞）、『自動車メガ・プラットフォーム戦略の進化』（古川澄明編、九州大学出版会、2018年）、『新たな事業価値の創造』（九州大学ビジネス・スクール編、九州大学出版会、2016年）。主要論文に “Digital technologies as lean augmentation: A preliminary study of Japanese automotive manufacturers” (*International Journal of Automotive Technology and Management*, 21(3), 2021,Schröder, M.他との共著）、「車両プラットフォームと戦略的柔軟性」（『自動車技術』第74巻第9号、pp. 16-21, 2020年）など。
戦略的思考ケース （第9回講義）	慶應義塾大学 教授　飯盛　義徳 	佐賀市生まれ。長崎私立青雲高等学校、上智大学文学部を卒業後、1987年松下電器産業株式会社入社。富士通株式会社出向などを経て、1992年慶應義塾大学大学院 経営管理研究科修士課程入学。1994年同校修了（MBA取得）後、飯盛教材株式会社入社、1997年常務取締役。2000年佐賀大学理工学部寄附講座客員助教授。また、アントルプレナー育成スクール「鳳雛塾」を設立。2002年慶應義塾大学大学院経営管理研究科博士課程入学。2005年同大学院博士課程単位取得退学と同時に、慶應義塾大学環境情報学部専任講師。2007年、博士（経営学）。2008年同大学総合政策学部准教授、2014年同学部教授就任、現在に至る。2015年10月、慶應義塾大学SFC研究所所長、2017年10月、慶應義塾大学総合政策学部学部長補佐を務める。2021年10月、慶應義塾大学SFC研究所所長に就任（2度目）。 専門は、プラットフォームデザイン、地域イノベーション、ファミリービジネスなど。2003年度、鳳雛塾は、日経地域情報化大賞日本経済新聞社賞などを受賞。総務省地域力創造アドバイザー、国土交通省小笠原諸島振興開発審議会委員、高知県中山間地域活性化アドバイザーなどを務める。2019年度、内閣府中心市街地再生方策検討会座長を務めた。 主著に『「元気村」はこう創る』（共編著、日本経済新聞出版社、2007年）、『ケース・ブックIV 社会イノベータ』（単著、慶應義塾大学出版会、2009年）、『小学生のためのキャリア教育実践マニュアル』（共編著、慶應義塾大学出版会、2011年）、『慶應SFCの起業家たち』（共編著、慶應義塾大学出版会、2013年）、『地域づくりのプラットフォーム』（単著、学芸出版社、2015年）、『日本のファミリービジネス』（共著、中央経済社、2016年）、『場づくりから始める地域づくり』（編著、学芸出版社、2021年）ほか。 ＜社会活動＞ 総務省地域力創造アドバイザー、国土交通省小笠原諸島振興開発審議会委員、高知県中山間地域活性アドバイザー、藤沢市教育委員会委員、NPO法人鳳雛塾理事長（ファウンダー）、ファミリービジネス学会常任理事、情報社会学会理事など。
企業倫理・CSR （第10回講義）	九州大学ビジネス・スクール 准教授　平野　琢 	1980年熊本県熊本市生まれ。一橋大学商学研究科修士課程修了（経営学）、東京工業大学イノベーションマネジメント研究科博士課程後期修了（工学）。東京交通短期大学講師を経て現職。日本経営倫理学会　理事、経営倫理実践研究センターフェロー。 研究分野：経営倫理、リスクマネジメント ＜主要著書＞ ・「福島原発事故と複合リスクガバナンス」（共著：東洋経済新報社） ・「二宮尊徳に学ぶ『報徳の経営』」（共著：同友館） ・「渋沢栄一に学ぶ『論語と算盤』の経営」（共著：同友館） ・「石田梅岩に学ぶ『石門心学』の経営」（共著：同友館） ・「上杉鷹山とイノベーション経営」（共著：同友館※経営倫理学会　水谷賞（書籍・奨励賞）受賞等

講義テーマ	講　師	プロフィール
イノベーションと知識のマネジメント **（第１１回講義）**	九州大学ビジネス・スクール 教授　永田　晃也 	早稲田大学大学院経済学研究科修士課程修了。科学技術庁科学技術政策研究所主任研究官、北陸先端科学技術大学院大学知識科学研究科助教授などを経て、2004年度、九州大学ビジネススクール助教授。2008年度から2009年度にかけて交流人事により文部科学省科学技術政策研究所総括主任研究官。2010年度より現職。主要著書：「日本型イノベーション・システム―成長の軌跡と変革への挑戦」（野中郁次郎との共編著、白桃書房、1995年）、「知識国家論序説―新たな政策過程のパラダイム」（野中郁次郎・泉田裕彦との共編著、東洋経済新報社、2003年）、「価値創造システムとしての企業」（編著、学文社、2003年）、「知的財産マネジメント―戦略と組織構造」（編著、中央経済社、2004年）、「ナレッジマネジメントの思想―知識生産と社会的認識論」（共訳書、新曜社、2009年）、「イノベーション・エコシステムの誕生」（編著、中央経済社、2022年）。受賞歴：2011年度研究・技術計画学会論文賞、2013年度研究・技術計画学会学会賞。 ＜社会活動＞ 組織学会理事（1999年度～2002年度）、同評議員（2013年10月～2015年9月、2017年10月～現在）、研究・技術計画学会（現、研究・イノベーション学会）編集理事（1996年度～1997年度、2004年度～2005年度）、同副会長（2014年度～2015年度）、日本MOT学会理事（2006年度～現在）、経済産業省産業構造審議会「知的財産政策部会」委員（2002年度）、新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）技術委員（2004年度～2021年度）、一橋大学イノベーション研究センター外部評価委員（2005年度）、福岡市「ロボット関連企業創出戦略調査検討委員会」委員長（2007年度）、科学技術振興機構「企業化開発・地域研究交流促進事業評価部会」外部委員（2008年度～2009年度）、大学基準協会経営系専門職大学院認証評価委員会委員（2012年度～2016年度）、九州大学経済学府産業マネジメント専攻長（2011年度～2012年度、2019年度～2020年度）、九州大学総長特別補佐（2012年12月～2014年9月）、九州大学科学技術イノベーション政策教育研究センター長（2012年度～現在）。
指導会 **（個人プロジェクト）**	九州大学SLRC 客員教授　大津留榮佐久 	1979年米半導体大手Texas Instrument Japan技術マーケティング、システムBU・グループ長歴任、Reengineerプロジェクト日本TI代表、BPD（Business Plan Development）社内認定講師、2001年ソニーセミコンダクタ九州㈱実装部門部門長、SIP（System Integration Platform）事業部長、大分テクノロジセンター代表、プロキュアメント（国際資材調達）部門長（熊本長崎国分TEC）を歴任。 2005年九州大学大学院工学研究院スーパーCOEプログラム（USI機構）執行部特任教授、2007年（公財）福岡県産業・科学技術振興財団システムLSI推進プロデューサー兼文部科学省地域イノベーションクラスタープログラム福岡先端システムLSI開発クラスター戦略本部事業総括（2012年3月、5年間の地域イノベーションクラスタープログラム完了＜S評価＞）。 2012年文部科学省大学発新産業創出拠点プロジェクトDBJキャピタル・ユニット事業プロモーター、2017年（一社）中部経済連合会イノベーション委員会特別参与（エグゼクティブ・プロデューサー）、2019年名古屋大学未来社会創造機構オープンイノベーション推進室特任教授ビジネスプロモータ、2021年大阪大学量子情報・量子生命研究センター（QIQB）特任教授（産学連携マネジメントリーダー）、2022年東京工業大学研究・産学連携本部イノベーション・デザイン機構特任教授、2023年九州大学大学院システム情報科学研究院価値創造型半導体人材育成・半導体社会実装学（SLRC）客員教授、九州工業大学先端研究・社会連携本部産学イノベーションセンター客員教授に就任。 ＜社会活動＞ 2011年文部科学省科学技術・学術審議会産学連携・地域支援部会臨時委員（1期目）、2013年同専門委員（2期目）2015年同地域科学技術イノベーション推進委員会専門委員（3期目）、経済産業省・NEDOオープンイノベーション協議会（JOIC）第1 回ワークショップ・モデレータ、2020年（国研）科学技術振興機構（JST）COI-NEXTアドバイザー、2021年（国研）原子力研究開発機構（JAEA）イノベーションハブシニアアドバイザー、2023年文部科学省地域中核・特色ある研究大学の連携による産学官連携・共同研究の施設整備事業審査委員。